

《薬局サーベイランスコメント》

『インフルエンザの患者数は過去 10 年間の同時期よりも非常に少ない状態が続いているが、まだしばらくは注意が必要』

薬局サーベイランス (<http://prescription.orca.med.or.jp/syndromic/kanjyasuikei/>) からの 2021 年第 2 週 (1 月 11 日~1 月 17 日) の、日本国内におけるインフルエンザの 1 週間当たりの推定患者数は約 1,420 と前週 (第 1 週) の値 (約 1770) より減少がみられています。例年 1 月に入るとインフルエンザの患者数は急増がみられますが、今シーズンはそのようなことはなく、依然としてインフルエンザの流行開始の兆候は認められていません (図 1a、図 1b)。

過去 10 年間の同時期と比較してインフルエンザの患者数は約 600 分の 1 と非常に少ない状態が続いていますが、冬期は流行に適していて、例年ならば間もなく流行のピークを迎える時期です。インフルエンザの患者発生動向についてはまだしばらくは注意が必要です。

2021 年 1 月 19 日
済生会中津病院感染管理室
安井 良則